

日本最軽量 ULTRA SAFETY SLIM

の防災瓦

石州軽量防災瓦

ウルトラ セーフティ・スリム

日本の屋根は
私が守る!



特許出願中

石州瓦の探究心の結晶
り めん たい じょう せ ゆう
独自の裏面帯状施釉技術で
軽量化に成功!
ウルTRASリムなのに
ウルトラセーフティな瓦が
誕生したのである。



ULTRA SAFETY SLIM ULTRA SAFETY SLIM

ウルトラセーフティ・スリム



石州軽量防災瓦

瓦の厚み比較

通常瓦

ウルトラセーフティ・スリム

POINT
1

軽い・強い
建物に優しい

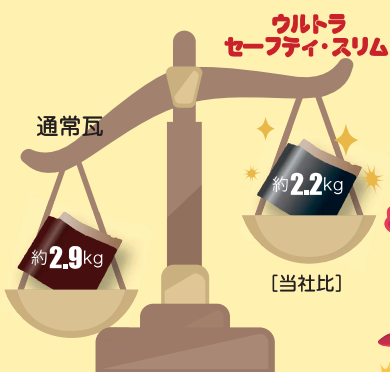
強さ&軽さの秘密は裏面帯状施釉

説明しよう!

陶器瓦の塗料である
釉薬^{ゆうやく}を瓦裏面にも塗り
焼き上げることで強度を向上させ
瓦を薄く軽くすることを
可能にしたのだ。

石州瓦独自の
特許
技術

だから瓦1枚当たり約700g減!



軽いっ!

20%以上
軽量化

車1台分の軽量化!



棧瓦1枚当たり
約**700g減**

×

家1棟当たりの棧瓦使用枚数
2000~3000枚

=

屋根全体で
約**1.4~2.0トン**
軽減

強さはそのまま、なのに軽い! だから建物に優しい安心の瓦!

ゲリラ豪雨・豪雪・超大型台風など異常気象頻発 だから、いろいろ安心の石州瓦がおススメ!

POINT 2

いつまでも綺麗
耐久性No.1

石州瓦は1200℃で高温焼成。変色・経年劣化せず
いつまでもきれい!



通風トンネルで結露防止

結露NG!

空気が通る通風トンネル

平板な屋根材と違いカーブのある瓦の裏側にあるトンネルが通気を良くし結露を防ぎます。

POINT 3

経済的でお得!

やっぱり瓦屋根は、お得で長持ち!



屋根材の耐用年数

- カラー鉄板約15年
- ガルバリウム鋼板葺き約30年
- カラーベスト葺き(薄型スレート)約30年
- 陶器瓦葺き約60年

その差
51万円

石州瓦の屋根はノーメンテナンス
将来、必ずお得です!

	新築時	10年後	20年後	
金属屋根	35万円	再塗装 +48万円	再塗装 +48万円	=131万円
陶器瓦	80万円	0円	0円	=80万円

石州瓦工業組合屋根ノートより引用

POINT 4

静か

雨でも静か♪ 屋根に当たる雨音も気にせず安眠!

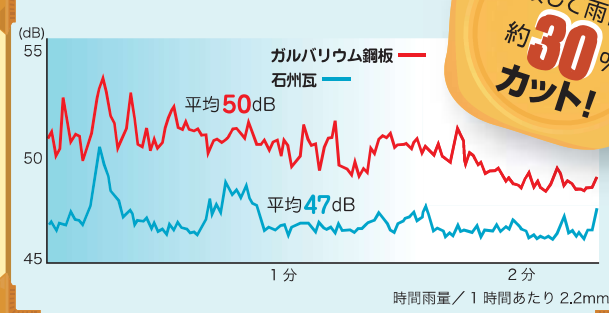
住めば分る石州瓦の

優れた遮音性能



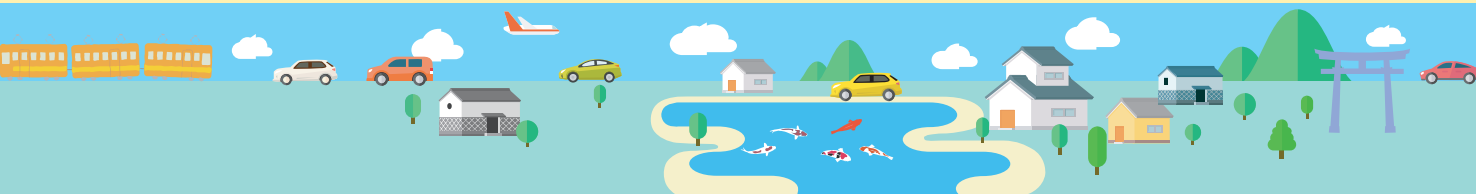
ガルバリウム鋼板は石州瓦より降雨時の雨音が3db大きく石州瓦より1.4倍の騒音が発生していることが分かりました。

降雨時の騒音比較 (住宅模型)



金属屋根と比較して雨音を
約30%
カット!

石州瓦工業組合屋根ノートより引用

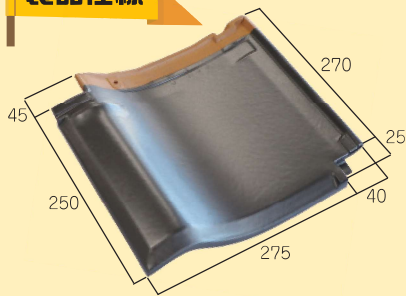


石州軽量防災瓦

ウルトラセーフティ・スリム

建物に優しい! 強くて軽い防災瓦

製品仕様



物性データ

寸法	働き寸法	葺き枚数	重量
全長 295 mm 全幅 315 mm	長さ 225 mm 幅 275 mm	約 16 枚/㎡ 約 53 枚/坪	約 36kg/㎡ 約 120kg/坪

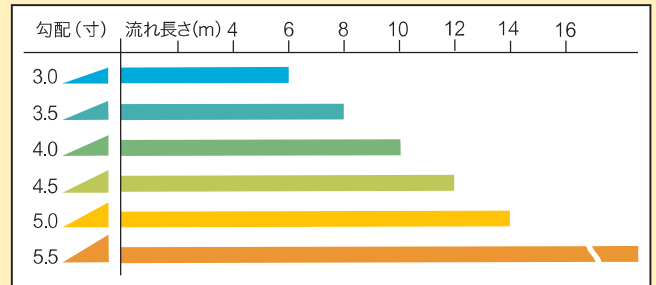
許容範囲 ±4mm

吸水率	曲げ破壊強度	凍害試験
6%以下	1500N 以上	ひび割れ・剥離異常なし

標準屋根勾配と流れ長さ

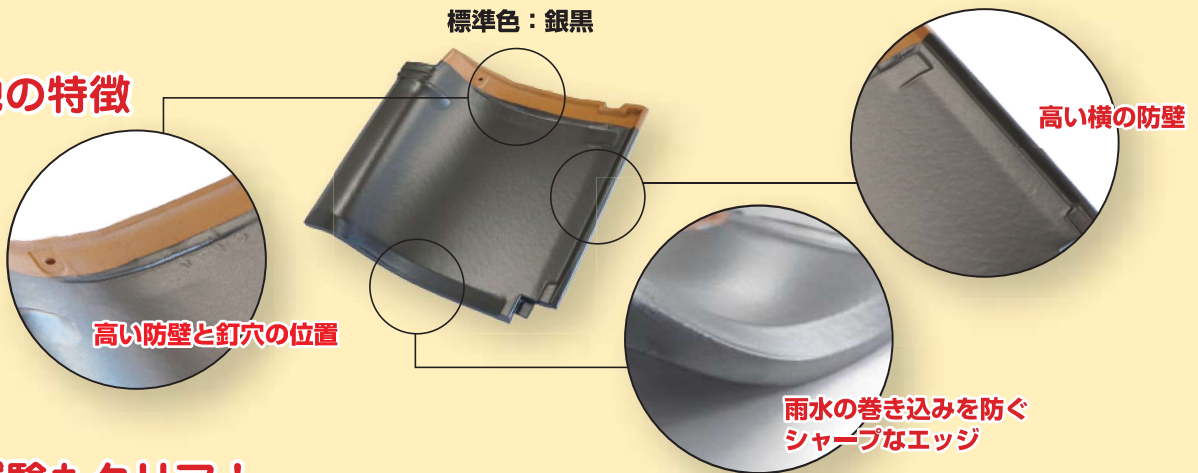
これらの性能は保証値ではありません。
実際の施工時には必ず以下の点にご配慮ください。

- 地域や建築物の種類等を考慮し下地に注意してください。
(超低勾配では二次防水としてゴムアス系下葺材と縦桟木等の使用をお勧めします)
- 低勾配では積瓦と同じ勾配で軒瓦を施工してください。
- 低勾配では雪止瓦の釘穴をコーキング等で防水加工してください。



標準色：銀黒

その他の特徴



各種試験もクリア!



耐風圧試験



凍害試験



瓦の曲げ試験 JIS A 5208



雨漏り試験

粘土瓦の特性について

粘土瓦は天然素材のため、下記のような現象が発生する場合がありますが製品欠陥ではなく品質上の問題は全くありませんので安心してご使用ください。

- 【色ムラ】 粘土成分の微妙な違いや焼成窯内の環境により、微妙な色ムラが発生することがあります。
- 【貫入】 釉薬表面に発生する細かい亀裂のことで、粘土と釉薬の収縮率の違いから生まれる自然現象です。
- 【ピンホール】 釉薬表面に発生する小さなへこみのことで、釉薬の気泡や粘土に若干含まれる有機物が焼成によって消滅することで生まれます。

軽量防災瓦を安全にご使用いただくためのご注意

- 軽量防災瓦の施工には専門の工事が必要です。専門工事業者にご相談ください。
- 寒冷積雪地域や強風地域、あるいは中高層建築物においては特殊な工事が必要とする場合があります。こうした条件で軽量防災瓦をご使用の際は、専門工事業者にご相談ください。
- 軽量防災瓦を使用した屋根は、関連する工事標準仕様書に基づいて設計してください。特殊な設計を行う場合には、専門工事業者にご相談ください。
- 軽量防災瓦は軽量化を図るため他の瓦より薄くなっていますので、取り扱いには十分注意してください。

21世紀の屋根を創造する。
株式会社 **シバオ**
石州水上

本社 〒694-0303 島根県大田市水上町白坪 658-1 TEL 0854-89-0201 FAX 0854-89-0276
九州営業所 〒820-0607 福岡県嘉穂郡桂川町大字土師 3461-4 TEL 0948-65-3603 FAX 0948-65-3914
広島サービスセンター 〒731-1526 広島県山県郡北広島町本地 605-1 TEL 0826-73-0587 FAX 0826-73-0588
熊本サービスセンター 〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1594-1 TEL 0964-27-9535 FAX 0964-27-9536

<http://www.shibao.co.jp/>

※改良等により予告なく内容を変更する場合があります。